

● Photo sketch ●



1/19 笑う門には福来る!?  
新春初笑い

岐阜大学落語研究会による寄席が下石公民館で開かれ、参加者約120人が落語の世界に引き込まれました。ステージには学生5人が登壇。扇子を片手に表情を巧みに変えながら一人で2役を演じたり、下石町の「とっくりとつくん」を登場させたりするなど、地元ならではのネタも織り交ぜ会場を沸かせる場面も。参加者は、「言葉と表情だけで、その場面が目に浮かび面白かった」「新春から大笑いできた」と満足気に話してくれました。



大野さん 黒豆さん 山口さん

1/22 新しい人権擁護委員の紹介

新しい人権擁護委員として、山口妙子さん（泉町）と黒豆啓子さん（泉が丘町）に、法務大臣から委嘱状が伝達されました。2人の任期は平成31年1月1日から3年間です。また退任した大野健一さん（泉町）には同大臣より感謝状が贈られました。大野さんは、平成21年10月1日から9年3カ月間活動されました。人権擁護委員は、市民の中から選ばれたボランティア。市内では、9人の委員が人権相談や啓発活動などを行い活躍しています。



1/23 これでバッチリ!  
茶わんの持ち方

土岐津幼稚園で「陶育」講座が開かれ、園児39人が茶わんの正しい持ち方や陶磁器の種類を楽しく学びました。同講座は、窯元で働く女性らでつくる「美濃焼おかみ塾」のメンバーら6人が実施。クイズ形式で急須や丼などの名前を教えたり、寸劇ではオオカミが悪い持ち方を見せたりするなど楽しい仕掛けが満載。講座を終えた園児らは、「ちゃんと持てるよ」と正しく持った茶わんを自信満々に見せてくれました。



2/1 鬼退治できたかな?

久尻保育園で節分の豆まきが行われ、2～5歳の園児約100人が鬼退治に臨みました。園児らが「意地悪」や「怒りん坊」など、自分の心の中にある鬼を追い出そうと園庭で士気を高めていると、黄色と青色の鬼が登場。元気よく豆をぶつける園児もいれば、逆に鬼に追い掛けられる園児の姿も。鬼を追い払うと「みんなで退治したよ。全然怖くなかった」と笑っている園児がいる一方で、鬼の恐さに涙が止まらない園児もいました。



2/3 目指せ マイスターの称号

日常生活に役立つ技能を身に付け、検定合格を目指すコンクール“土岐市GINO CON”がセラトピア土岐で開催され、市内の小学4～6年生75人が挑みました。くぎ打ちやリンゴの切り分けなど4つの検定種目のほか、学校別で競い合う豆つかみなど2つのリレー種目も行われ、児童らは日頃の練習の成果を存分に発揮。検定合格よりも厳格な基準で合格した児童には「マイスター」の称号も授与されました。参加児童は「この日のためにたくさん練習してきた。この技能を今後の生活に生かしていきたい」と話してくれました。



2/10 念願かなう  
濃南分団中核拠点施設が完成

鶴里町に市消防団濃南分団中核拠点施設が完成し、竣工式と記念イベントに地元住民ら約500人が詰め掛けました。式典では、同分団長が「濃南地域の皆さんの生命と財産を守るための施設として大切に使用したい」とあいさつ。訪れた住民らは、詰め所や車庫を備えた施設内を見学し完成を喜びました。イベントでは、おにぎりや豚汁が振る舞われたほか、消防車両の乗車体験なども行われ、住民と団員らが交流を深めていました。

